

エヌアイだより



病院の理念

私たちは、地域に根ざした消化器専門病院として、良き伝統を重んじつつ、慈愛と英知を結集し地域医療に貢献する。

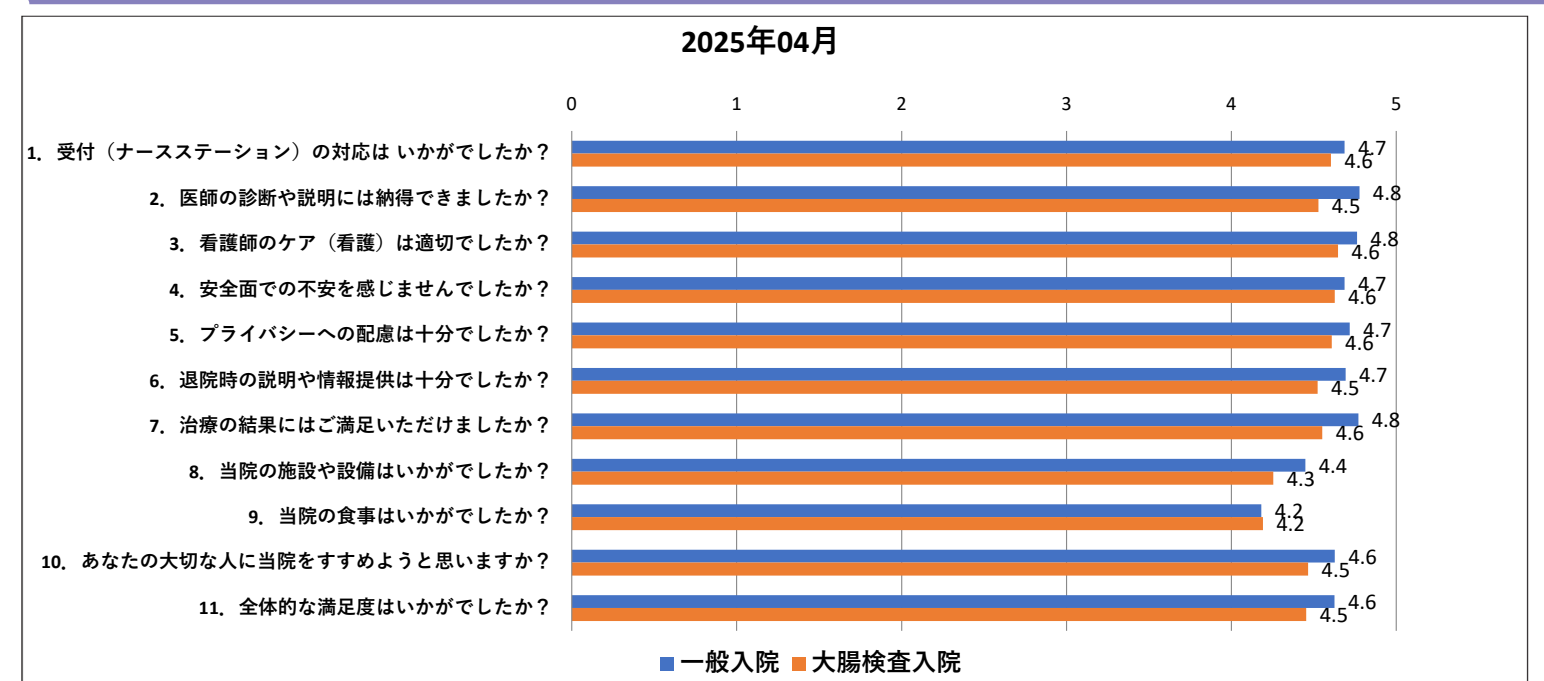
基本方針

1. 私たちは、生命の尊重と人間愛とを基本とし、専門技術、知識、心を患者さんに提供するものとする。
2. 私たちは、ひとりひとりが病院の顔であるとの意識を持って、患者さんに奉仕するものとする。
3. 私たちは、ひとりひとりが常に技術知識の研鑽、向上に励み、礼節をもって患者さんに心から満足してもらうサービスを提供するものとする。
4. 私たちは、患者さんにとって良い医療を、迅速にサービスするものとする。

患者の権利と責任

1. 適切な医療を公平に受ける権利があります。
2. 病状と経過、検査や治療の内容などについて理解しやすい言葉で説明を受ける権利があります。
3. 充分な説明と情報に基づき、自らの意志で医療内容を選択する権利があります。
4. 診療上得られた個人情報が保護される権利があります。
5. 患者さんは、私たちに対し自らの健康等に関する情報を正確に伝える責任があります。

入院患者さま満足度アンケート



満足度	2023年11月	2024年4月	2024年11月	2025年4月
一般入院	4.6	4.6	4.7	4.6
大腸検査入院	4.5	4.5	4.5	4.5

■退院時アンケートご意見からの改善

- ・ 前回（11 月）病室にレースのカーテンを付けて欲しい → 220 番台、260 番台の病室に取り付けました
- ・ 患者食堂が分かりにくい→院内表示検討中です

■患者さまより

- ・ 看護師さんみなさん優しく親切な方ばかりで治療に安心して任せて大満足でした。
- ・ 気持ちの良い対応ありがとうございました。おかげさまで何の不満もありませんでした。
- ・ 安心して検査を受けることができました。ありがとうございました。
- ・ すごく不安、恐怖がありましたが、どのナースの皆さまも優しく親切でとても対応が良く安心して検査を受けられました。

たくさんのご意見ありがとうございました

熱中症について 暑い夏をのりきるコツ

熱中症とは、高温多湿な環境に長時間いることで、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態です。熱中症になると、脱水になり、めまいや立ちくらみ、尿の減少やこむら返りなど様々な症状が出てきます。重症になると死の危険もあります。

脱水症のチェック

1. 皮膚をつまんでみる
＊皮膚がつままれた形から 3 秒以上戻らなかつたら疑わしい
2. 親指の爪の先を押してみる
＊赤みが戻るのに 3 秒以上かかれば疑わしい



室内環境のチェック

室温だけでなく、湿度が高いと熱中症になりやすいです。適切な室内環境を心がけ、エアコンを有効に使いましょ

経口補水液を活用しましょう

熱中症では脱水になるため、水分補給は大切です。水やお茶の摂取もいいですが、脱水の時には、「飲む点滴」とよばれる経口補水液が効果的です。薬局などで、市販のものもありますが、自分で作ることもできますので、ぜひ一度作って味見してみてください。

【経口補水液の作り方】

- ・ 水 1L
- ・ 砂糖 30g + お好みでレモン汁 50cc
- ・ 塩 3g



健診センターなかの 健康診断のご紹介

TEL：0565-57-3366

オリジナル半日人間ドック・法定健診・豊田市健診・健康保険組合の補助を使用した健康診断などがございます。また、人間ドックにはオプションを追加していただけます。お電話にてお問い合わせください。



●LOX-index

当日受診可

採血で脳梗塞・心筋梗塞のリスクを調べる検査
こんな方におすすめ！

- ✓ 肥満気味
- ✓ 高血圧・脂質異常症・糖尿病などの持病あり
- ✓ 脂っこい食事や塩辛い食べ物をよく食べる
- ✓ たばこを吸っている、もしくは吸っていた
- ✓ 定期的な運動をしていない

令和7年度より
新登場！



●腸内フローラ

便であなたの腸内環境を調べます

- こんな方におすすめ！
- ✓ おなかの調子が悪い
 - ✓ 痩せにくい
 - ✓ ストレスが多い
 - ✓ 肌荒れしやすい
 - ✓ 食生活が乱れがち
 - ✓ 免疫機能の不調



●胸部ＣＴ（肺がん検査）

胸部Ｘ線検査よりがんを見つけられる検査
こんな方におすすめ！

- ✓ 50 歳以上の方
- ✓ たばこを吸っている、もしくは吸っていた
- ✓ 同居人が喫煙をする
- ✓ がんの家族歴がある
- ✓ 咳や痰が続く



編集後記

毎年、お盆になるとキュウリとナスで精霊馬を作り、ご先祖様の霊をお迎えします。キュウリは馬、ナスは牛に見立てて、ご先祖様の霊が早く来たり、ゆっくり帰ったりできるようにとの願いが込められていたそう…。日本には、風情ある昔ながらの風習がたくさんあります。これからその風習を受け継いでいきたく思います。今日この頃です。（桐）

熱中症（・熱射病・日射病）について

医師：神谷 賢吾

❖ はじめに

夏に向かい暑さが厳しくなる中で毎年話題に上がってくるのが「熱中症」です。全国で年間実に6～9万人の方が救急搬送され、1000人以上の方が亡くなられており、学校生活やスポーツ、労働環境など様々な面で社会問題になっています。そのほかに「熱射病」「日射病」もあり、同じように聞こえますが違いがあります。今回はそれぞれの定義、主な症状、治療法、そして予防について解説します。

❖ 定義 熱中症

「熱中症」は、高温多湿な環境において、体温調節機能が破綻し、体内の水分・塩分バランスが崩れることで発生する障害の総称です。Ⅰ度（軽症）～Ⅲ・Ⅳ度（重症）に分類され、「熱射病」は熱中症の中で最も重篤な状態を指します。

熱射病

「熱射病」は熱中症の最重症型であり、深部体温が高温（ときに40℃以上）に上昇し、さらに中枢神経障害（意識障害やけいれん）を伴った状態です。汗が出なくなることも多く、生命の危険にまで及ぶ状態であるため、迅速な対応が必要です。



日射病

「日射病」は、直射日光を長時間浴びることによって生じる熱中症の一種です。特に頭部が強く熱せられることによって脳の温度が上昇し、体温調節がうまくいかなることが主な原因です。

❖ 検査

熱中症の症状（重症度別）

●Ⅰ度（軽症）：初期症状

- ・めまい、立ちくらみ、顔面蒼白、軽度の筋肉のけいれん（こむら返り）
- ・発汗は多く、意識障害はない段階

●Ⅱ度（中等症）：水分・塩分の喪失による循環不全・全身状態悪化による症状

- ・倦怠感、頭痛、吐き気、脱力感、集中力の低下

●Ⅲ度・Ⅳ度（重症）：熱射病 臓器障害（肝機能・腎機能）にまで至った重篤な症状

- ・高体温（Ⅲ度：～39.9℃
Ⅳ度：40℃以上※）

- ・意識障害（応答が鈍い、意識消失）、けいれん
- ・発汗が止まり皮膚は乾燥してくる
- ・DIC（播種性血管内凝固症候群：凝固機能が破綻した状態）を起こすと大変危険

※熱中症ガイドラインが2024年に改訂され、それまでのⅢ度の中で40℃以上の場合が、さらに重症度が高く、注意が必要としてⅣ度に分けられました。

日射病の症状：直射日光下で出現する熱中症症状

- ・頭痛、吐き気、ふらつき、顔のほてり
- ・高体温（場合により39℃以上）

❖ 治療

熱中症

重症度に応じて対応が異なりますが、基本は「冷却」と「水分・電解質補給」です。

●Ⅰ度（軽症）：

- ・涼しい場所に移動し、衣服をゆるめて安静に
- ・経口補水液やスポーツドリンクで水分と塩分の補給

●Ⅱ度（中等症）：

- ・可能なら経口補給
- ・医療機関への搬送を考慮
- ・経口補給が困難な場合は医療機関での点滴による水分・電解質の補正

●Ⅲ度・Ⅳ度（重症）：熱射病

- ・高度医療を要する場合もあり一刻も早い病院への搬送が必要
- ・体温の冷却（氷嚢、冷水シャワー、体表冷却）
- ・点滴に加え臓器障害への対応（腎不全に対する透析、肝障害に対する治療など）

日射病

日射病も熱中症の一種であり、基本的には同様の処置を行います。特に直射日光を避けることが重要です。冷却や水分補給の基本を守り、重症化した場合には医療機関への搬送が必要です。

❖ 予防

基本原則

●暑熱環境の回避

- ・真夏日（気温30℃以上）や熱帯夜の日、外出や運動を控える
- ・屋外作業時は、こまめな休憩と日陰の確保が重要

●水分・塩分の補給

- ・のどが渇く前にこまめに水分補給（1日1.5～2リットルを目安）
- ・発汗が多い場合は、ナトリウムを含む飲料（水＋塩、経口補水液など）が望ましい

●適切な服装

- ・吸汗速乾性のある通気性の良い衣類
- ・帽子や日傘の利用、首周りを冷やすグッズなども有効

●体調管理

- ・睡眠不足や疲労は発症リスクを高める
- ・高齢者や子ども、持病のある人は特に注意が必要

●暑さへの適応（暑熱順化）

- ・徐々に運動や外出の時間を増やすことで、体が暑さに慣れる（一般に5～10日程度）

❖ まとめ

「熱中症」は非常に身近でありながら、油断すると命に関わる重大な疾患です。中でも「熱射病」は重症型として注意が必要で、意識障害が見られた場合は救急搬送を迷わないことが大切です。また、直射日光による熱中症である「日射病」は、日陰の確保や帽子の着用による予防が有効です。これらの病気に対する適切な知識を持っておくことが、予防、そして発症した時のすばやい対応につながります。ますます厳しくなっていく夏を安全に過ごすためにも、日頃から備えていきましょう。

